

第16回春の全国中学生ハンドボール選手権大会安全対策

大会実行委員会

●大会時の保険について

- 1 選手は、あらかじめ健康診断を受け、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
(傷害等が発生した場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付がある。)
- 2 単独中学校チーム、合同チーム及びクラブチームの監督、コーチ等は、役員として、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 3 大会役員、競技役員、生徒役員、観衆等の傷害については、大会期間中、毎日別途の傷害保険(1日レクリエーション保険等)に加入し対応する。

●救急対策について

- 1 大会期間中、試合会場に整形外科医を配置するほか、保健師または看護師、養護教諭及び接骨院医師を配置する。
- 2 会場にAED(自動体外式除細動器)が設置されていることを確認し、大会運営者に複数のAED取扱講習会受講者を配置して不測の事態に備える。
- 3 緊急搬送用車両の手配をする。
- 4 大会期間中、下記の病院を救急病院として指定する。

医療機関名	所在地	電話番号	診療科目
金沢医科大学氷見市民病院	氷見市鞍川1130	0766-74-1900	総合

●緊急避難対策について

- 1 地震等の災害に対する避難経路、避難場所を明示して、安全を最優先する。

●公衆衛生対策

大会前

- 1 宿泊施設業者及び食品販売テナント業者名の届け→高岡厚生センター氷見支所
- 2 宿泊施設業者及び食品販売テナント業者従業員の検便実施
- 3 宿泊施設業者及び食品販売テナント業者対象の公衆衛生講習会実施
- 4 高岡厚生センター氷見支所による利用施設の水質検査、衛生検査等の実施
- 5 消毒薬、中和剤の配置(体育施設)
- 6 公衆衛生啓発パンフ、チラシの配布(参加チーム、宿泊施設業者及び食品販売テナント業者)

大会時

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止について、主催者側ガイドラインに沿って行う。
- 2 選手の健康状態聞き取り調査
- 3 トイレ、洗面所の定期巡回点検及び張り紙等による注意喚起
- 4 医師及び養護教諭等の配置
- 5 市内及び近隣市町村病院(主に高岡市)との連携
- 6 高岡厚生センター氷見支所との連携

新型コロナウイルスに対する基本的な感染防止対策について

- 1 発熱、咳、倦怠感などの風邪の症状および味覚嗅覚を感じない者の大会参加を認めない。
また、2週間以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も大会参加を認めない。
- 2 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は大会参加を認めない。
- 3 選手、チーム役員、保護者および登録外選手（応援者）、大会役員、審判員、競技役員、大会関係者ともに、2週間平熱を超える発熱（概ね37.5℃）がないことに加え、当日の体温を確認し体調管理の徹底を行う。
- 4 大会期間中、選手、チーム役員、保護者および登録外選手（応援者）、大会役員、審判員、競技役員、大会関係者ともに健康状態と連絡先などが明記されているチェックシートを各会場受付で回収する。
※出場チームには事前に初戦分をご案内致します。また、勝者チームは退館時に翌日分を各受付にて受け取ってください（一か月間、事務局で保存）
- 5 本大会は、出場各チームは登録選手15名以内・役員4名（生徒役員含）以内の参加とし、登録外選手は応援のみとする。
※アップの参加は認めない
- 6 観客については、入場制限をかけ一般観覧者の入館を禁止とする。ただし、出場各チームの保護者および登録外選手（応援者）の入館を許可し、1チーム上限30名とする。
また、固定座席については応援者用エリアを設け「密」な状態とならないように間隔を空け、立見（ふれスポサブ・南部中）についてはソーシャルディスタンス（できるだけ2m：最低1m）を遵守する。
- 7 入館について、選手、チーム役員、保護者および登録外選手（応援者）、大会役員、審判員、競技役員、大会関係者は必ずマスクを着用し、AI体温検知カメラおよび温度計にて検温すること。また、館内では競技中の選手・審判員以外は常時マスクを着用し大きな声を出しての応援はしない。
- 8 チームのユニホーム着替場所について他チームとの接触を避けるものとし、ふれあいスポーツセンターでは1試合につき3コート分6チームが一同に着替えるため更衣室が足りず、芝生側通用口付近に仮設テント4チーム分を設ける。
※氷見高、南部中会場は1コートのため対応可能である
- 9 試合日程については、更衣室の関係上スムーズに行うため男女に振り分ける。
※試合終了後は、速やかに退館する
- 10 チームおよび保護者および登録外選手（応援者）の入館時間制限について
 - ・第1試合目チームについては、開館時刻8：00より入館とする。
 - ・第2試合目以降のチームについては、前試合ハーフタイムの20分前から入館とする。
 - ・保護者および登録外選手（応援者）は当該試合開始10分前からの入館とする。※試合終了後は、速やかに退館する
- 11 各会場の消毒および換気について
 - ・「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」の感染症対策ポスターを随所に掲示し「注意喚起」を行う。
 - ・消毒については、随所に消毒剤（手指）を設置し、選手更衣室・固定席・各控室（机）・ドアノブ・手摺り・トイレ水洗レバー等についてはこまめに行う。また、試合コートに

についてはハーフタイムにベンチ、毎試合終了後はベンチおよびオフィシャル席（得点操作盤等含む）・モップを行う。

・換気については、試合コートではハーフタイム（10分）および試合間（20分）で行い、各控室においても定期的に行う。

12 「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」の推奨をする。

【iPhoneの方】



【Androidの方】



13 大会に関するすべての者は、大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、氷見市実行委員会に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

14 大会期間中に感染が判明した場合は、（公財）日本ハンドボール協会および競技正副委員長・総務正副委員長・事務局側と協議し迅速に対応する。